

2022 特許・情報フェア&コンファレンス
特別フォーラム2

特許情報解析の未来
～解析技術、サービスはどう進化するのか～

2022年11月11日

高野誠司

自己紹介

- 1990年：株式会社野村総合研究所入社
- 1996年：社内ベンチャー制度に応募
インターネット特許情報サービスを企画
日本で初めてインターネット上で特許情報を提供
- 1999年：弁理士試験合格 弁理士登録
- 2001年：NRIサイバーパテント株式会社設立 代表取締役社長
- 2003年：特許庁 産業財産権情報利用推進委員
- 2005年：日本弁理士会 知的財産価値評価推進センター運営委員
- 2007年：TEPIA 知的財産事業選考委員
- 2007年：欧州特許庁から表彰（アジア特許情報普及功労）
- 2015年：経済産業省 産業構造審議会知的財産分科会 情報普及活用委員
- 2020年：日本知的財産情報サービス事業者協議会（JIPISA） 会長
- 2021年：サイバーパテント株式会社 取締役会長
- 2022年：知財ガバナンス研究会 知財コンサル等分科会サブリーダー
- 2022年：高野誠司特許事務所設立 所長

1996年以降、
一貫して
特許情報に
かかわる
業務に従事

ここ数年、
特許情報を
解析して
株式投資

特許情報解析を取り巻く環境変化

「特許情報解析の未来」を語る前に、
まずは特許情報や解析環境の変遷についておさらい

知財政策
ITの進化
社会的要請

左記因子が
右記に影響

情報提供者・形式
ユーザー層・属性
利用目的・活用シーン
解析技術・手法

で？

特許情報解析の未来はどのような？

平成時代の特許情報解析の環境変化

知財政策

特許庁ペーパーレス化
知財立国宣言、TL0法

ITの進化

インターネットの普及
検索・表示技術
テキストマイニング

社会的要請

ビジネスモデル特許ブーム
訴訟対応（職務発明、トロール含）
グローバル化

日本は世界に先駆けて電子出願を開始
→公報情報が紙媒体から電子媒体に

第三者提供著作権を設定
→特許庁外郭独占から民間事業者参入へ
（自己利用・グループ利用・第三者提供
の設定は現在は廃止）

IPDL（現J-PlatPat）で特許情報は無料に

平成になりインターネット商用利用可能
インターネット普及でモデムから解放

検索技術：書誌検索から全文・概念検索
表示技術：PDF、3次元可視化、統計

データマイニング→テキストマイニング

FinTechやビジネス関連発明が特許に

研究者が直接検索できるようになると、
知財部にはより高度な業務が求められる

情報提供者・形式

特許庁外郭団体独占→民間事業者
紙公報→CD→DVD→インターネット

ユーザー層・属性

弁理士、サーチャーなど専門家
→研究・開発者等に裾野拡大
製造業→非製造業、研究機関

利用目的・活用シーン

先行技術調査、無効調査、棚卸
→SWOT分析、IPランドスケープ

解析技術・手法

書誌検索、めぐり・読み込み
→全文検索、マップ、マイニング

未来の特許情報解析の環境変化は？

知財政策

知的財産推進計画2022
コーポレートガバナンス・
コード改訂

ITの進化

5G、第3次AIブーム
量子コンピュータ萌芽

社会的要請

SDGs、ESG
ウィズ／ポストコロナ
安全保障

知的財産推進計画で「スタートアップ・
大学の知財エコシステムの強化」強調

コーポレートガバナンス・コード改訂に
て知財投資に関する情報開示と取締役会
での監督に関する事項が補充原則に追記

高速大容量通信、ディープラーニング

量子コンピュータで即時大量の情報処理

特許情報には発明者情報が含まれる
引用情報には他用途のヒントが含まれる

オルタナティブデータ（非財務情報）と
して特許情報が注目

SDGs実現にイノベーションは欠かせない
ESG投資に特許情報の活用が期待

ウィズ／ポストコロナ時代の特許制度や
秘密特許制度が公的会議で議論

情報提供者・形式

知財情報専門家→各種DB事業者
テキスト・図面→音声・動画

ユーザー層・属性

特許事務所、大企業、研究機関
→スタートアップ、大学発ベンチャー
コンサルタント、投資家

利用目的・活用シーン

知財活動（創造・保護・活用）
→マーケティング、人財、投資、M&A

解析技術・手法

データオリエンテッド、ミーティング
→市場・財務情報等とクロス即時解析

と、ここまで過去の振り返りと
これから起きそうな変化の予想を
してみました…

(私の経験から言えることを次頁以降に記載)

かつて馬鹿にされ笑われた出来事

1990年代

「インターネットに特許検索式を流すやつはいない」

by 大手企業特許部



出典：特許庁

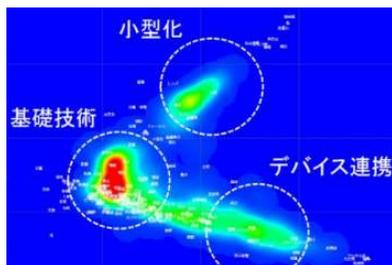
↓

今ではインターネットを使った
特許情報検索は当たり前

2000年代

「横軸と縦軸を説明できないマップなんか使えない」

by 大手企業知財部



出典：サイバーパテント株式会社

↓

今ではIPランドスケープで
多様な俯瞰解析が実践活用

高野誠司特許事務所

特許情報解析の未来



今、馬鹿にされ、笑われている
出来事にヒントがある！ (はず)

ご清聴ありがとうございます

連絡先

東京都港区虎ノ門3丁目18-12ステュディオ虎ノ門3階

高野誠司特許事務所

弁理士 高野誠司

<https://www.takano-pat.com>